

世界の歌 (1965)

LA CHANT DU MONDE

メディア 映画

ジャンル

製作国 フランス

時間 118分

公開情報 劇場未公開・NHK衛星第2で放映

【解説】

「黒いオルフェ」のカミュ監督の未公開作品。19世紀フランスの山岳地帯を流れる河の、上流と下流の村の争いを西部劇風に描いたロマンス編だが、ドヌーヴの出番は少ないので不満が残る。“赤毛”と呼ばれる青年ダニスが河を遡って、上流の牛飼いの総領で大地主モドリユの縁筋の娘を略奪婚してしまったことから、彼を探しに出た父マトロや、親友で“黄金の口”と呼ばれる精悍な髭をたくわえたアントニオ（クリューガー）と、モドリユの間で争いが起き、双方に犠牲者が出る。アントニオは“赤毛”を探す旅の途中、一人の盲目の女が子を産み落とそうとするのを助けて、彼女クララ（ドヌーヴ）と赤ん坊を知人の馬車に乗せ、牛飼いの村に帰そうとする。が、荒れた天候で着くのが遅れ、子供は死に、彼女は戦いの渦中に巻き込まれる。しかし、最後には、彼女の手を引いて“赤毛”たちと共に山を下り、春の唄をギターで爪弾くのだった。牧歌的な大人のメルヘンを狙っているのだろうが、どこか中途半端な出来。

【クレジット】

監督	マルセル・カミュ	Marcel Camus
出演	ハーディ・クリューガー	Hardy Kruger
	シャルル・ヴァネル	Charles Vanel
	カトリーヌ・ドヌーヴ	Catherine Deneuve
	マリル・トロ	Marilu Tolo